

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立西成高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	希望の進路実現率および定着率（第2学年末におこなう進路希望調査の実現率）、および「生徒の成長実感率」
計画名	西成高校「暮らしと仕事をつなぐシチズンシップ育成」プロジェクト

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	新たに設定した西成高校ロードマップに沿って、「地域との協働の取組の創出」に注力する。特に、「若者を暮らしと仕事をつなぐシチズンシップ研究」開発を通じてエンパワメントスクールとして成熟することをめざす ..... <b>2. キャリア教育でエンパワーする</b> ○ 挫折や失敗からリカバーするチカラを育成する。 ○ アルバイトを導入とした動機付けから、 <b>2年次のインターンシップ</b> を通して、段階的・実践的な職業教育を実施する。 ○ 社会人基礎力の養成を行う。（1年次からの人間関係作りなどを含めた） <b>4. 「地域を育むごと」エンパワーする</b> ○ 「産業社会と人間」「エンパワー-TIME」「総合的な学習の時間=チャレンジ」の発表会を実施する。 ○ 地域防災の取り組みを地元自治体とともに小中高の連携で行う。 ※「地域との協働による高等学校改革推進事業」（文部科学省）にエントリーし、「地域課題の解決」（子どもの貧困、福祉と教育の連携、活力ある西成区、地域防災など）をめざす「地域魅力型」事業（コミュニティスクールの地域学校協働本部のような取組）を実施する。→平成31年度は地域協働推進校（アソシエイト）として取り組む。	
	平成29年度の経営推進費事業計画で掲げた、学習の導入時にハードルを上げすぎず、徐々に生徒の学習への取組を促進することで、生徒の中途退学率を下げる、という仮説と実践はある意味成功を収めた。昨年度示された学校教育自己診断での学校満足度や授業への満足度は大きく進化した。しかしながら、中途退学率は大きくは下がらなかった。それは生徒の社会的背景による影響を少々過小評価していたからと考えられる。 本計画は、わが校がめざす「三つの自立/生活的自立・社会的自立・職業的自立」のためには、地域の人から評価を受けたり、また自ら役立ったとの実感することにより自尊感情を高める必要がある。 【学習】 ①「当事者」として自らの生活を「意識化」し、地域課題を自らの問題として理解し実践するチカラの育成 ② 地域課題に直面し市民力を養う学習を活用し「生きる力」をデザインできる生徒の育成 ③ 西成の歴史・文化に親しみと誇りをもち、西成区や西成高校のことをポジティブに語れる生徒の育成 →エンパワ演習（1年次）、産業社会と人間（1年次）、総合的な学習の時間（のち総合的な探求の時間）や自由選択科目（エンパワタイム）2年次、総合的な学習の時間（のち総合的な探求の時間）カリキュラムマネジメントを通じて実現！ 【キャリア教育】 ① インターンシップのための地域本部を作る ② 就労に不安のある生徒への相談支援専門員の配置 ③ 就労相談支援の場として校内JOBカフェ=Job café にしなり すてっぷルームを週3回程度開催する。 ※教育と福祉の連携は言うまでもなく、さらに就労への支援を学校システムに組み入れる。	
取組みの概要	整備する設備・物品（概要）	○校内JOBカフェ=Job café にしなり すてっぷルーム の開設 開設のために→電話、テーブル、椅子、タイル・カーペット、エアコン、無線LANアクセスポイント、書棚など ○校内JOBカフェの運営委託費（2年め、3年めはランニングコストとして）
	前年度	平成29年度採択の「学びと支援の空間づくり」PJは、平成30年度学校教育自己診断の「エンパワメントスクールにきよかったか？」との問いに80%をこえる肯定感が示され、また、先生のわかる授業に向けた工夫についても80%に及ぶ肯定感が示された。そのことで、当該PJの成果指標についてはほぼ達成したと考えられる。ただ1点、中退防止については中退率7%あたりで足踏み状態が続いている。このことは教育だけで解決できるものではなく、社会との連携の中で解決されるものだと考える。そこで、昨年度はインターンシップに力を注いだ。 ○インターンシップ185人参加（平成30年度）←平成27年度50人、平成28年度131人、平成29年度158人）年々増加しているが、学校外の学修としての単位認定者は少なく30名前後となっている。 ○就職斡旋希望者 内定100%を8年連続維持している。
	初年度	【1】学習（内容のブラッシュアップ、地域との協働を企図する内容に変更） ○エンパワメント演習（教科横断型、学校設定科目） 全員必修<2単位> →①地域防災入門 ②地域福祉基礎講座 ③健康基礎講座 ④異文化に生きる（仮案） ○産業社会と人間（全員必修） 3単位 →①「にしなり」学習 社会的排除と格差の連鎖についてなど；部落差別、貧困問題、野宿者についてなど地域の課題の共有と対話の中から、解決策を探る ②「自己理解と働くということ」 【2】キャリア育成 ○西成高校インターンシップ連絡協議会（仮称）を組織し、インターンシップの活性化、評価手法の研究を実施 ←校内JOBカフェの取組み
	2年め	【1】学習（内容のブラッシュアップ、地域との協働を企図する内容に変更） ○総合的な探求の時間（全員必修 2単位）教科横断 →①地域実習（インターンシップ）→地域で働く、職種だけでなく業種も研究対象とする ②反貧困学習（テーマ別人権学習） 西成区はすべての人の人権が守られる状態をめざして街づくりを進めている。この学習では私たちの生活そのものを見つめ直し、「意識化」する取組みを行う。 ○ボランティア入門（福祉/2単位/選択授業）など →①地域でのボランティア実習を行う。 【2】キャリア育成 ○校内JOBカフェによる相談支援、就労支援専門員による面談など
	3年め	【1】学習（内容のブラッシュアップ、地域との協働を企図する内容に変更） ○総合的な探求の時間（全員必修 1単位）教科横断 →①卒業後の自立に向けて、自分が困ったときどうするのか？相談支援の活用の仕方など。 ○地域福祉入門（福祉/2単位/選択授業） 【2】政治的教養を高める ○ 地域課題研究（仮） 西成区（地元地域）の課題に対する政策提言を行う。 【3】キャリア教育 ○校内JOBカフェによる取組み、インターンシップの総括などを地域との連携の視点からまとめる。
取組みの主担・実施者	カリキュラム開発→首席、校内JOBカフェ運営→首席 教務学習課、進路指導課を中心にシステムを運用 → すべての教職員が学級担任として教科担任として実施	
成果の評価検証方法	初年度	地域人材を育成する地域と協働した評価指標として、地域実習（インターンシップ）における地元（大阪市）企業数 50社 地元への定着率を測るものとして、就職斡旋者の就職率の向上 70% ■学校教育自己診断での成長実感の肯定感 75%以上 ■希望の進路実現率 70%以上
	2年め	地域人材を育成する地域と協働した評価指標として、地域実習（インターンシップ）における地元（大阪市）企業数 60社 地元への定着率を測るものとして、就職斡旋者の就職率の向上 75% ■学校教育自己診断での成長実感の肯定感 80%以上 ■希望の進路実現率 80%以上
	3年め	地域人材を育成する地域と協働した評価指標として、地域実習（インターンシップ）における地元（大阪市）企業数 60社 地元への定着率を測るものとして、就職斡旋者の就職率の向上 80%以上 ■学校教育自己診断での成長実感の肯定感 85%以上 ■希望の進路実現率 85%以上

3. 事業費

事業費総額	2,932,759	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)		番号	内訳	見積に基づく清算			実勢価格に基づく積算		
				1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1	校内JOBカフェ運営人件費		○		¥2,500	200	¥500,000	
	2	校内JOBカフェ運営人件費			○	¥2,500	200	¥500,000	
	3								
							小計	¥1,000,000	
2 旅費	1	先進校視察旅費(福岡)		○		¥37,380	3	¥112,140	
	2								
	3								
							小計	¥112,140	
3 消耗需用費	1	会議テーブル				¥53,676	1	¥53,676	
	2	オフィスチェア				¥23,652	4	¥94,608	
	3	引違書棚				¥23,544	1	¥23,544	
	4	3段ワゴン				¥25,704	1	¥25,704	
	5	斜めシェルフ				¥7,920	2	¥15,840	
	6	タイルカーペット				¥11,063	14	¥154,882	
	7	無線LANアクセスポイント				¥33,717	1	¥33,717	
	8	メタルラック(4段)				¥5,011	2	¥10,022	
	9	スティッククリーナー				¥13,866	1	¥13,866	
							小計	¥425,859	
4 維持需用費	1								
	2								
	3								
							小計		
5 役務費	1								
	2								
	3								
							小計		
6 委託料	1	校内JOBカフェ運営開設委託				¥750,000	1	¥750,000	
	2								
	3								
							小計	¥750,000	
7 使用料及び賃借料	1								
	2								
	3								
							小計		
8 備品購入費	1								
	2								
	3								
							小計		
9 工事請負費	1	エアコンディショナー一式				¥461,160	1	¥461,160	
	2	電話線及びLANケーブル配線工事				¥183,600	1	¥183,600	
	3								
							小計	¥644,760	
10 負担金・補助及び交付金	1								
	2								
	3								
							小計		
							合計	¥2,932,759	

積算内訳